



## 助言委員会開催される



2021年2月16日16:00より第2回課外活動助言委員会が、Zoomを使用して開催されました。

出席者は境広志学生部長を委員長として、経済・理工・文・法・経営学部から委員の志賀、村松、金、山田、田中の各先生、学生部から熊崎担当課長、氏原氏（事務局）、学生代表として山方 体育会本部委員長（軟式野球部）、弘松 四大戦推進局長（ラクロス部女子）、OBOG 会長会から御厨会長、本間副会長、オブザーバーとして事務局小町の13名が出席しました。

報告事項として、

体育会リーダーズキャンプは、2月18日（木）ZOOMで開催。スケジュールは、河合先生（校医）の講習会、（株）ホープス 坂井氏の講習会でその概略が紹介された。

1) 2020年度体育会団体事故報告について、熊崎担当課長より説明があった。

2020年度はコロナの影響で課外活動期間が制限された為 事故報告件数は30%少なかったが、安全管理の徹底は常に求められる。

2) 2020年12月開催のアスリートセミナーアンケート集計結果について、境部長より説明があった。

アンケートから参加者の皆さんが、真剣に学んでいることが感じられる。また、今後聞きたいテーマでは「メンタルについて」の回答が多く見られた。

3) OB・OG会長連絡協議会の活動について、御厨会長より新型コロナの影響で予定していた総会など実施はできてないが、SMAnewsの発行、各団体の周年誌の発刊状況調査や学生部からのコロナ対策情報などを登録メンバー全員へのメール配信などの報告があった。

4) その他項目として、熊崎課長より説明があった。

2020年の新入部員勧誘が対面で実施出来なかったことから、4月の入学式で新入生対象、入学式前日での新2年生対象の対面での団体紹介を実施出来ないか検討している。



※配布されたアンケート結果などの資料は下記のGoogleDriveのフォルダー（2021.2.16 助言委員会\_PW3778）にUPされています。

<https://drive.google.com/drive/folders/1kNX2HUDBm1gNNZYCRzB-C6u1vIPcOMWb?usp=sharing>

## リーダーズキャンプ開催される



2021年2月18日9:30より第54回リーダーズキャンプが、Zoomを使用してWeb開催されました。学生103名、OBOG 会長会6名（御厨、木村、本間、小町、赤石、信太）が参加しました。

境広志学生部長の挨拶で始まり、校医河合祥雄先生からは、部活動の安全な運営を担保するための最小必須の事項についての説明がありました。

(株)ホープス坂井伸一郎社長からは、「コーチングについて」相手に教えるティーチングと相手から引き出すコーチングとの違いを示しながら

①相手の成長を手助けする ②コーチとは ③コーチに挑戦について説明を受けました。

午後からは、体育会本部による各局からの報告があり昼食後グループディスカッションが行われました。

その後成蹊会、学生部からの連絡事項等があり17:00閉会となりました。

※配布された資料は下記のGoogleDriveのフォルダー(2021.2.18 リーダーズキャンプ)にUPされています。

<https://drive.google.com/drive/folders/1TPnOD22b3MN9Selom4SzqhQgBodRhXhw?usp=sharing>

OBOG 会長会 事務局長 小町敏則（71年卒） 寄稿

## 学生部からの連絡です

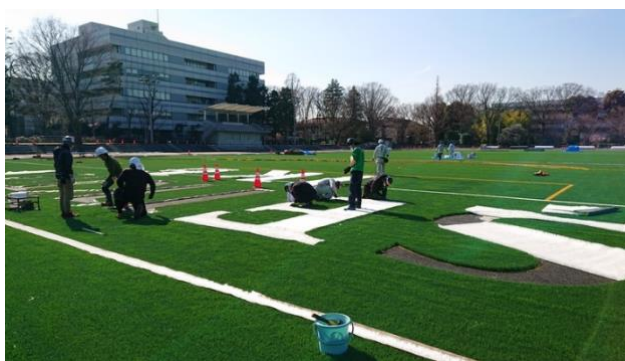


緊急事態宣言の発令に伴い本学でも課外活動については制限を課しているところですが、公式戦・公式大会に備える必要がある団体などについては申請に基づく学生部長の判断で個別に活動を許可しているところであり、すでに幾つかの団体は2月下旬から活動を再開しています。

さて、近く体育会本部から各団体には正式に周知をしますが、4/1(木)に新1年生の入学式を実施し、さらに3/31(水)には現1年生(新2年生)の入学式も実施することが大学で決まりました。その両日には体育会と文化会所属の団体にかぎり、ブースを設

けて対面での新勧活動が許可されます。

またけやきグラウンドでは11年ぶりにインフィールドの人工芝を全面張替えしており、3月中には竣工します(写真添付)。大学体育館2階のトレーニングルームには学生部の予算で新たなマシンが4台設置され、さらに南体育館2階トレーニング室にもラグビー部OB会からの寄贈によるマシンが2台新たに設置されましたので、4月以降は体育会の部員たちに広くご活用いただけることとなります。また全ての教室棟・管理棟に加えて、屋内の体育施設やシャワー室、更衣室、部室棟等の共用部については、学園が耐ウイルス対策として専門業者による抗菌処理も行っています。



成蹊大学 学生支援事務室 熊崎和宏課長 寄稿

## スキー部は学生スキー技術選手権に参加しました



2020年体育会スキー部員は、男子4名女子2名計6名、新入部員がなく昨年同じ部員でのシーズンインとなりました。12月北陸地方の大雪もあり十分な積雪量で2・3月の主要な大会を向えましたが、その中1月緊急事態宣言が発令されました。スキー場のある地方自治体は大会開催に慎重な対応となりました。

全国中学スキー大会・四大学スキー大会・冬季国体・学生スキー選手権大会等次々に大会中止の連絡が入る中、現役学生より1月唯一開催される学生スキー技術選手権に是非参加したいとの相談があり、早速学生側より学生支援部へ申請をし、学連の感染予防ガイドラインの提出・大学感染予防マニュアルの参加者の徹底等し、OB会は他大学の動向・現地状況の確認を行いました。その上で、学生支援部熊崎課長より「学外で開催される大会でありもし仮に感染が発生しても学内にそれが波及する可能性が低いこと、スキー競技は屋外競技で人との接触プレーもなく感染リスクが低いこと」等理由により許可したいとの連絡をいただきました。学生の立場をご配慮の上、実情に合わせたご判断いただきましたこと深く感謝申し上げます。



### 第35回全日本学生スキー技術選手権大会

<女子総合> 14位 稲垣圭乃(2年生)

<男子総合> 29位 小川智輝(3年生)

30位 桜本一輝(4年生)

33位 内田宗良(3年生)

4年生にとりましては、苦難続いた大学生生活最後に大きな大会でリザルト残せたことは一筋の希望の光を見出したことと思います。

このような緊急時代だからこそ、現役学生・大学学生部・OBOG会が密接に連絡をとり、守るべき感染予防ルールを学生側順守指導し、毎日変化する状況の情報交換をしながら部活動を支援していく。今後のOBOG会のあるべき姿と考え、現役学生の支援を続けたいと思います。

雪蹊会会長 若穂圃四郎(85年卒) 寄稿

## 漕艇部の活動を報告する

漕艇部は、年間約300日間におよぶ戸田艇庫における合宿生活を活動の基本としていますが、昨年は新型コロナ



感染症対策のため3月より合宿を休止し、個人による自主練習とせざるを得ず、ローイングエルゴメーター(ボート漕ぎマシン)やエアロバイク、バーベル等の練習機材を各自自宅に持ち帰り、自主トレーニングを継続しました。

戸田艇庫における練習・合宿の可否については、大学に熟慮頂いた結果、PCR検査陰性・戸田艇庫より外出しない。という条件のもと、コロナ対応のため10月22日から開催延期となったインカレまで約2か月間は全員で合宿生活を行うことができました。



当時の自費 PCR 検査は高額であったので全額を桃漕会負担としました。当初予定通りの日程で、10月8日から開催された全日本選手権には対校フォアが出漕。下位で敗退しましたが、圧倒的な乗艇練習不足でも確りとした漕ぎを見せました。

インカレの出漕目的は例年とは異なり「レース経験の伝承」でした。エイトと4人漕スカルで漕手ほぼ全員が出漕。2021年に向け漕ぎ切ってくれました。

両大会とも無観客開催でしたが、インターネット中継で全レース観戦可能でした。

4年生にとっては、漕艇部活動の総決算にあたるインカレに出場できたことが、これからの人生を歩んでいく上での大きな糧となることでしょう。

今年1月からの緊急事態宣言後は再度活動自粛となってしまいましたが、前回同様に各個人が練習機材を持ち帰り練習を行い、部員全員とコーチ陣が参加し毎週 Zoom ミーティングを実施し、示達連絡・各活動の共有（新歓活動等）・練習内容の確認やコーチングを行う事で現役選手のモチベーションの維持に努めました。

マネージャーについても、栄養士のコーチによる指導の下、月次で勉強会を実施し、一体感と知識の醸成を行い合宿再開に備えて来ました。

そして、3月1日(月)より合宿再開の許可を頂き、勇躍合宿インしました。

今年は今現役チーム自ら掲げた「インカレ全員出場」という目標に向け、桃漕会も最大限の支援をして参ります。一日も早く通常の部活動が可能となることを期待しつつ、状況に応じた感染対策を実施しながら練習継続して行きます。

OBOG 会長会の皆さまにも是非、戸田艇庫までボート部を訪れて頂ければ幸甚です。

漕艇部桃漕会 会長 能村 卓 (81年工卒) 寄稿

## ラクロス部 OBOG 会で総会を WEB 開催しました



ラクロス部では3/13(土)、OBOG総会を開催しました。新型コロナの影響によりフルオンラインでの開催となりましたが、総勢150人以上もの学生・OBOGが自宅から参加しました。

総会ではOBOG会代表からの挨拶、顧問の稲葉先生からのメッセージに続き、前半は昨シーズンのリーグ戦ダイジェスト映像や新歓プロモーション用動画、新チーム紹介など学生からのプレゼン、後半はOBOGからコーチ紹介、寄付金贈呈、新歓プロジェクト活動、就活支援活動について発表を行いました。

昨シーズンは特別大会として昇格・降格のない、規模を縮小した無観客でのリーグ戦開催となり学生たちも消化不良の1年でした。そんな状況下でもビデオ会議を使ったリモートでの新入生勧誘や説明会実施、YouTubeによるリーグ戦のライブ配信など、現役達は今できることを精いっぱい行っています。まだまだ終わりの見えないコロナ禍ですが、我々OBOGもそんな現役達をできる限り支援していきたいと思っております。

ラクロス部OB会長 山本 (92卒) 寄稿

## 今年も桜が咲き始めました



2021年4月4日(日)に開催予定でした「さくら祭り」は昨年に続き中止となりました。

しかしながら、成蹊学園の「さくら」は、今年も綺麗に花を咲かせ始めました。

昨年一年間は、OBOGだけでなく体育会所属の学生の活動環境は大きく制限されることとなりました。新型コロナウイルス感染症問題はどこまで変化をし、我々を苦しめるのでしょうか。通常的生活環境を取り戻すまでにまだまだ時間がかかりそうです。

逆手にとらえるとこの一年で我々は、仕事や生活サイクルの改革を求められ対応し始めています。学生にとっては、ZoomによるWEB講座ばかりで対面の授業が少ないとの不満もありますが、我々OBOG会長会も何もできない中、Zoomによる会議にトライを始めました。今しばらく沢山のOBOG会長会会員が一堂に会し集う機会は作れないかもしれません。リーダーズキャンプで行われている河合先生(校医)や(株)ホープス 坂井氏の講習会の聴講もできることになり、各OBOG会の総会も首都圏の卒業生だけでなく各地におられる方々にも参加することが可能となり各クラブの活性化にも繋がります。各クラブOBOG会におかれては新しいことにチャレンジする良い機会ととらえ最低Zoomでの対応ができるようお願いいたします。



史料館前の李(スズ)の花です。

### Information 重要なお知らせ

#### ■お知らせ

□次号 SManews 26号(4月~6月)は、6月25日頃発行予定です。自分のクラブの活動を積極的に掲載して見ませんか。

掲載責任者 木村明彦